

おい書館
No. 42

生涯学習会館

着手へ

長期総合計画

懇話会参加

十月二十三日(木)、平成十年四月スタート予定の松戸市長期総合計画(其本構想・其本計画)及び実施計画策定に係わる懇話会に出席しました。昨年十月、今年五月と同じく今回も分野別ではなく、各界(健康・福祉・生活・環境、文化・教育、都市・経済)懇話会、若者懇話会、女性懇話会、及び一般の参加希望

者による合同懇話会でした。

懇話会に先立って「おい」図書館に宛て資料が送られて来ました。「松戸市総合計画が二次試案概要版」と「松戸市総合計画が一次実施計画素案(平成十年度～十四年度)」と題するかなりのページ数の冊子は大量の言葉の洪水で、読む前から気持ちが萎えてしまいそうでした。五月の「一次試案」と見比べてみると、項目毎の掲載の順番は変わっていましたが、内容に大きな変化は見られません。つまり、「松戸市」という地名を入れ替えればどこに持って行っても通用するのはないかと言えるような概念的なものに思えました。

松戸市総合計画
が一次実施計画

五月の懇話会では新しい図書館建設の見通しについて、「前回の長期総合計画における五、六次五ヶ年計画の実施計画に盛り込まれているのは事実だが、予定している用地の取得がスムーズに運ばずに計画がずれこんでいる。しかし、後退しているとは考えていない。新総合計画における五ヶ年の実施計画の中で、実現できるように取組んでいきたい。」との回答を得ることができました。是非そのように実現してほしいと望んでおりましたところ、今回送付された「一次実施計画素案」によると、「事業計画」のⅡ、施策の体系別計画——「若者、次代を育む



文化・教育環境の創造（文化・教育分野）——（1）生涯学習の推進
 進出に（基本的な方向）として「市民一人ひとりが生きがいをもち、充実した人生を築きむため、学びたいときに学べる場とシステムづくりを図り、「知縁」などを通じて生涯にわたって主体的に学び続けることのできる地域社会の創造を推進します。
 そのため、総合的な生涯学習推進体制を整備し、生涯学習に関する情報提供・相談機能の充実を図ります。」とあり、更に「計画事業」には「ゆえ、生涯学習会館建設事業」として「市民の生涯学習を支援するため、市内・図書館網の中心となる中央図書館と、学習情報提供機能を中心とする生涯学習センターを併設した生涯学習会館の建設に着

手する。」と明記されたいました。そして、「事業年度」は「平成十三・十四」、「建設着手」とありました。これは私達にとつては驚きでもあり、本当に嬉しいことでした。図書館建設について「着手」という語を目にしたのは初めてのことでした。



「着手」という語の内容を詳しく知りたいと思いましたが、合同懇話会の限られた時間の中で細かい点まで質問するの

憚られるので、懇話会に先立って企画部を訪ねることにしました。

最も知りたかった着手については、「着手」と考えてもらってはよい。」と。「しかし、現実に大蔵省関税分析所移転の進捗状況と並行して進めるので、五月の関東財務局訪問の際の話しから考えても、早くても平成十四年度位にはなってしまうのではないかとのことでした。

また今回の総合計画の中と重ねて唱われている「市民と行政のパートナーシップ」。「市民参加システム」の推進」ということについては、「どのような手法かは未定だが、実現して行きたい」との嬉しい答えを聞くことができました。（裏へつづく）

広報まつど 1997.10.5

1 人権を尊重する社会の実現—人権施策推進事業、

人権学習推進業務、社会同和教育をはじめとする人権学習の発展・充実 2 男女共同参画社会づくりに関する情報収集事業、女性の講座の充実、男女共同参画プラン推進事業、女性のエンパワーメント支援事業 3 市民と行政のパートナーシップの強化—支所機能の充実、市民意識調査事業、地区集会施設整備費補助事業、市民会館施設整備改修事業 4 情報公開制度の充実、地域情報化推進事業、市民手帳全戸配布事業

1 生涯学習の推進—生涯学習基本計画策定事業、

生涯学習会館建設事業、戸定フォーラム建設事業、水族自然史館建設要請事業、博物館教育普及事業、市民参加の学習運営、市民大学講座の発展・充実、生涯学習大学の発展・充実、自然系展示開催事業、理工系展示開催事業 2 市立高校の学科等の新設事業、小学校教育用コンピュータ整備事業、スクールカウンセラー配置事業、余裕教室活用事業、小・中学校耐震改修事業、小・中学校大規模改造事業、中学校屋内体育館改築事業、学校用地買収事業、小学校給食施設の整備・拡充事業、私立幼稚園園児補助事業、私立幼稚園振興事業 3 健康体力づくりスポーツの推進事業、いきいきふれあい健康の里づくり事業、サッカー場整備事業、千葉大学園芸学部農場跡地体育館建設事業、松戸市スポーツマスタープランの策定事業、国際スポーツ交流の推進事業 4 国際化の推進と平和意識の高揚—国際化のまちづくり推進プラン策定事業、外国人への情報提供事業、財団法人松戸市国際交流協会支援事業、姉妹都市交流推進事業、平和意識の啓発 5 青少年の健全育成—博物館教育普及事業、街区公園新設事業、青少年の祭典事業、地域の教育力向上事業 6 多様な文化・芸術の創造—人材情報ネットワーク事業、博物館展示関係事業、既存観光地区整備事業、松戸市史編さん整備事業

連携型地域社会の形成

- 1 人権を尊重する社会の実現
- 2 男女共同参画社会づくり
- 3 市民と行政のパートナーシップの強化
- 4 情報提供の充実

豊かな人生を支える福祉社会の実現

—健康・福祉分野—

- 1 多様な生きがい感のある環境づくり
- 2 健康の維持・増進
- 3 日常生活および緊急時の安全・安心性の向上
- 4 福祉のための基盤整備

次代を育む文化・教育環境の創造

—文化・教育分野—

- 1 生涯学習の推進
- 2 学校教育の推進
- 3 生涯にわたるスポーツ活動の支援
- 4 国際化の推進と平和意識の高揚
- 5 青少年の健全育成
- 6 多様な文化・芸術の創造

安全で快適な生活環境の実現

—生活・環境分野—

- 1 良好な生活空間の実現
- 2 人と自然が共生するまちづくり
- 3 リサイクル型の都市づくり
- 4 安全で安心な地域環境づくり
- 5 自立をめざした消費者行政の推進

第一次実施計画案（期間 平成 10 ～ 14 年度）の予定事業

九月市議会本会議において、森
広議員から図書館建設について
の質問がなされたそうです。そ
れに対して川井市長は、「計画
を実施するにあたっては、検討
会・懇話会のようなものを作っ
て市民の声を入れて行きたい。」
と答弁されたとのこととす。

私達の

構想づくりへ

この企画部訪問をふまえて、
十月二十三日の懇話会では、「
実施計画にある通り、是非実現
してほしい。」という希望を述
べるにとどめました。それに対
し市側の答弁は、「パートナー
シップ行政を守ってやって行き
たい。」というものをした。
今回活字として記された「着

手する」という一語は、私達に
とって非常に重みのあるもの
に思えます。更に、「市民参加シ
ステムの推進」という文言を信じ、
私達市民の望む図書館づくり
に向けてより具体的な構想を行政
側に対して要望して行こうとい
う思いを新たに会場を後にしま
した。
（青木和子）



発行 おーい 図書館
連絡先 青木和子

松戸市稔台八三〇六

047-387-7166